Salt & Seawater Science Seminar 2026
安全・安心な塩を届けるために
—国内で流通する塩の品質と検査：天日塩を例として—
開催のご案内

2026 年度公開講演会 Salt & Seawater Science Seminar 2026 を下記の通り開催いたします．多くの皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます．

記

主　　催　：公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所

協　　賛　：塩元売協同組合，全国輸入塩協会，ソルト・サイエンス研究財団，たばこと塩の博物館，
（敬称略）　日本海水学会，日本塩協会，日本食品衛生学会，日本特殊製法塩協会，日本分析化学会
（いずれも予定）

日　　程　：2027年2月10日（水）13：00～17：00（受付開始 12：00）

会　　場　：公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所（神奈川県小田原市酒匂4丁目13-20）

アクセス　：JR線・小田急線 小田原駅東口 箱根登山バス（国府津駅行），バス停「酒匂小学校」で下車
JR 線 国府津駅 箱根登山バス（小田原駅東口行），バス停「酒匂小学校」で下車
*駐車場はありませんので，公共交通機関でお越しください．

概　　要　：**開会挨拶**　　公益財団法人塩事業センター　理事長　斎藤 恭一

講演1　　国内で流通する塩の特徴と品質

公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所　上席研究員　麻田 拓矢

海水総合研究所が実施している市販食用塩の品質調査結果を紹介するとともに，各国の品質規格の内容や日本との違いを解説する．

講演2　　オーストラリア産天日塩の品質管理と日本への安定供給（仮）

三井物産株式会社

三井物産株式会社が輸入しているオーストラリア産天日塩の製造方法や品質管理を解説するとともに，日本やアジア各国への安定供給を支える輸送・物流の仕組みや取り組みを紹介する．

講演3　　国際貿易における輸入貨物の品質確認

一般社団法人日本海事検定協会

国際貿易における検定（サーベイ）の重要性を解説するとともに，一般社団法人日本海事検定協会が実施している，輸入天日塩の受け入れ実態や塩以外の輸入貨物における検定事例を紹介する．

講演4　海水総合研究所における塩の分析方法開発

公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所　次長　野田 寧

海水総合研究所で進めている塩試験方法の改定準備と最近の分析方法開発を概説する.

閉会挨拶　公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所　所長　正岡 功士

見学会

海水総合研究所 本館および実験棟

参 加 費　：無料

申込方法　：公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所ホームページのイベント情報より，お名前，ご所属，ご連絡先（電話番号，E-mail）をご登録ください.

URL：https://www.shiojigyo.com/institute/event/ssss/

申込期間　：受付開始 2026年11月16日（月），締切（予定） 2026年12月28日（月）

問合せ先　：公益財団法人塩事業センター 海水総合研究所

Tel: 0465-47-3161，E-mail: kouenkai@shiojigyo.or.jp

以上